

～『岡山建民力』の結集で地域社会発展を目指す～


新年明けましておめでとうございます。



会員の皆様、役員の皆様、そして関係各位の皆様には、平素より(社)岡山県建築士会の活動や事業にご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は米国の金融問題に端を発する世界的な経済不況の影響を受けた暗い年明けに始まり、年の中盤には数十年振りの政権交代がなされ、終盤にはデフレ経済に陥るなど、社会経済環境が大きく変化し混沌とした一年でした。

建築関係についても、国レベルにおける公共事業のあり方や地球環境対策などが確かな結論を見ないままに、2010年の年明けを迎えました。本年はぜひ、長らく続く建設不況に終止符を打ち、住宅着工も増加に転じるなどで、建築関係者に明るい展望が開ける年となることを期待する次第です。そのためには、私たち建築士も手をこまねいているだけではいけません。こうした今こそ、身近な地域で建築士としての専門性を発揮し、都市や地域の景観保存や創造、歴史的建造物の保存継承などで先導的な役割を發揮し、それぞれの地域まちづくりに積極的に貢献することが大切かと考えます。県内の建築士がこぞって協力し合いその力を發揮すること、すなわち『岡山建民力』を結集し郷土おかやまの活性化を図ることで、地域社会の発展を目指すことが肝心かと存じます。そのためにも、岡山県建築士会がその中心となるとともに、率先して建築関係者と連携・協力することが重要であります。

私自身、昨年5月の会長就任に当たって「集い」という旗を立てさせて頂きました。会員増強や社会へのアピールには、まず現会員が魅力を感じて参加し活発に活動する会ではなくてはなりません。こうした志で行われる様々な集いを大切にして参りたいと考え、年末には三部会(青年・女性・地域づくりフォーラム21部会)合同で、初めての大きな集い『忘年大交流会』を開催いたしました。 [集い Project 忘年大交流会ご案内チラシ](#)

会員1700名の約2割近い300名を超える会員と100名近いその友人・知人の建築関係者等で、計約400名と多くの方々の参加を得てのパーティー等で楽しく交流するとともに、岡山の建築士として一致団結して郷土おかやまの地域社会発展に貢献することを誓い合いました。

集い Project 忘年大交流会風景

改めて、ご尽力頂いた実行委員会委員の皆様とご参加等ご協力頂いた関係各位に厚く御礼申し上げます。

今年の建築士会としては、昨年に引き続き「住宅・建築事業者支援協議会」事務局として、木造住宅の耐震化や省エネ法等の各種講習会を実施するほか、建築士の登録・閲覧事務等を通じての建築行政への協力、関係団体等と連携した地域実践活動の推進や継続能力開発(CPD)制度及び専攻建築士制度のオープン化を通じて社会的活用の推進を図る等を重点施策として、関係事業を積極的に実施して参りたいと考えています。さらに会員増強と公益法人改革の対応等を重要な課題として取り組むため、会員皆様方のご意見を十分お聞きする等、私自身、誠心誠意会の発展に努めて参る所存でございます。

本年も、昨年芽生えた会員団結の新たな芽を大きくふくらませていく活動を推進してまいりたいと考えていますので、関係各位の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成22年 元旦